

第2期中部WIN 第4回開催レポート

開催日時：令和元年8月23日（金）14時～17時

開催場所：中部経済産業局 2階会議室 主催：中部経済産業局

●女性リーダーによるミニ講演●

井村屋グループ株式会社 総務・人事部 課長代理
松田 瞳 氏

「幸せや価値について考えてみませんか？」



～仕事・家事・育児の両立の中で～

「仕事」「家事」「育児」3つを両立したいが、どれも60%ほどしかできない。足したら180%とも考えられるくらいの気持ちが必要な時もあるのだろうけど、そう思うことが難しい……。この状況が幸せなのか自分に問いかけ、以下のように考えました。

仕事
60%

家事
60%

育児
60%

完璧にできない焦りから
プレッシャーを感じてしまう……。

～なぜ“一生懸命”働き続けるのか？～

果たして一生懸命に働き続けることが幸せなのか。

①成長したい ②貢献したい ③人と関わりたい

この3つの観点から「幸せ」や「価値」にスポットを当てて考えてみました。

①成長したい → 成長することが幸せにつながるのか

「成長する」「達成する」ことが必ずしも幸せになるとは限りません。幸せになるよりも“幸せだと思うこと”が大切です。

②貢献したい → 評価を求めすぎていませんか

会社からの評価と自分の価値を分けて考えるようにする。

価値は自分で見出すことが大事。

評価は求めすぎず、左右されすぎずと気楽に考えましょう。

③人と関わりたい → 人間関係、社内外との調整が大変

働いているからこそ、人との関りができます。

人と協力して目標を達成し、喜び合えることにやりがいを感じます。

と、視点を変えて「幸せ」や「価値」について少し考え方を変えてみると家族や仲間への思いやり、自身の行動にも自信が持てるようになりました。

焦りを感じる毎日から少し安心して、自分の成長につながることに取り組みそうな気がします。



●トップリーダーによる講義●

トヨタ自動車株式会社 取締役 菅原 郁郎 氏

「日本経済社会をめぐる現状と課題」

～これから世界はどう動き、日本はどう対応するのか～

世界における二つの経済的变化

1. パワーバランスの変化

先進国の経済力が相対的に低下し、中国やイスラム圏の影響力が拡大

2. 技術進歩による大激変

産業の盛衰スピードと社会変革、情報操作・選択による未知なる世界

では何が起きるのか？

急速な技術進歩によるマーケットや競争条件の変化

→生存する、消滅する、誕生する会社が出てくる。→成功するには・・・

イノベーションのジレンマ

持続型イノベーション（A）

顧客が重視する性能の向上＝改善

破壊型イノベーション（B）

主流市場の性能としては必要十分かつ価格が安い製品の投入

性能が劣るが、解決されていなかったジョブを解決し、新たな価値を提供

社会システムとして、 $B \rightarrow A \rightarrow B$ 、 $A \rightarrow B \rightarrow A$ の流れの実現こそが、**企業としての成長戦略になる。**

日本の課題は？

1. 少子高齢化に対応できない制度の老朽化

人生60年モデル

- ・失業→雇用保険制度
- ・傷病→医療保険制度
- ・引退→年金制度
- ・介護→介護保険制度

人生100年モデル

- ・制度の想定を超えた長寿
- ・就労期間の長期化
- ・終了形態の多様化
- ・高齢者就労の拡大



既存の社会保障制度の抜本的な改革が必要

2. 人口減少がもたらす問題

少子高齢化および地域格差の拡大

人材戦略

多種多様（女性、高齢者、外国人、ロボット）な人材の活用

地方における生産性の革命

観光、農林水産業の生産性向上、老朽化したインフラの整備改修

「問題を直視し、課題に挑戦する心を失ってはいけない！」と

今後の日本の経済、制度について力強いメッセージを頂きました。

●中間報告会●

各グループがこれまでに行ってきたグループワークをもとに中間報告を行いました。

グループA

●テーマ 諦めない働く女性のための子供の移動サービス

子供の送り迎えを手軽にできるサービス。

将来的には高齢者の介護の分野にも展開。



グループB

●テーマ ママすっきり 子供ニッコリ 健康増進プラン

健康長寿の実現のために親子を対象とした、スキマ時間を活用した運動不足や食生活を改善する取り組み。

グループC

●テーマ “女性リーダー”に戸惑いを感じるあなたへ

女性リーダー候補や女性活躍推進をしたい企業を対象に経験を積む場を企画・コーディネートする。



グループD

●テーマ 疑似祖父母プロジェクト

元気なシニア層の経験・余力を活かして子育て世代を応援し、地域活性化につなげる。

中間報告を受け、それぞれのグループに対してトヨタ自動車取締役菅原様や中部WIN1期の参加者やサポーターの方からご意見をいただきました。

中には厳しい指摘もありましたが、11月の最終報告会に向けて、より一層気の引き締まる中間報告会となりました。



●交流会●

講座終了後、中部WIN2期生と1期生、トヨタ自動車取締役菅原様や当局職員で意見交換を兼ねて交流会を行いました。

異業種の女性が多数集まるのも珍しく、グループや1期生2期生の垣根を越えて交流を深めていました。終盤に差し掛かると、会場の雰囲気も一層にぎやかになり、時間は短い中でも盛況のうちに閉会しました。

